

令和4年度第2回男女共同参画推進委員会

日時 令和4年5月19日

午後7時～午後9時

場所 碧南市役所 談話室3

参加者 小澤、斎藤、杉浦、熊谷、清水、須田、新川、高橋、鈴木（博）、石川、尾崎、長谷川（ZOOM）

事務局 斎藤、角谷

1 第17回「575で交わす 夫婦 の会話」実施について

(1) 内容について

ア 夫婦のままでいくか、パートナーに変更するか、どちらがいいか？

- ・数年前に一度パートナーに変えたときも夫婦からの応募が多かった。今回も夫婦でいいのでは？
- ・高い年齢層の人たちの間では、パートナーといえは夫婦だが、若い人たちの間ではそうでもない。
- ・前回パートナーに変更したときとは世情が異なる。募集するターゲット層を絞ってから変更するのはどうか？
- ・主題が「夫婦」、副題や応募資格が「パートナーでもOK」とするのはどうか？
→応募資格をパートナー可とする。また、パートナーへの注釈は付けず、応募する人の解釈に任せる。

イ 句の詠み手に（妻・夫）以外の欄を設けるか？

- ・いっそ欄を設けないのはどうか。詠み手が妻なのか夫なのかを表示することで、「妻らしさ」や「夫らしさ」を求めてしまう。今回は句の詠み手の立場を明らかにせず、読者の解釈に任せるのはどうか？
- ・（妻・夫）ではなく（男・女）にするのはどうか？
- ・妻や夫、女や男ではなく、詠み手の名前を表示するのはどうか？
- ・これまでも匿名希望の方が多い。名前を表示するとなれば、応募数が減る可能性がある。
- ・欄は今まで通りに設け、丸を付けるか付けないかは応募者に任せたらどうか
→今まで通りに（妻・夫）の欄を設けるが、丸を付けるか付けないかは応募者に委ねる。

(2) チラシについて（資料1）

応募期間は今まで通り8月頭～11月末

- (3) 協賛について
今年は協賛を行わない

2 フォーラム・勉強会について

- (1) 内容について
今年はフォーラムを行う。

- (2) 司会・講師について

- ・男性社会のなかで頑張っている女性の、苦労した話を聞くのもいいのでは？
 - ・同様に、女性社会の中で頑張っている男性の、苦労した話を聞くのもいいのでは？
- 男性社会の中で頑張る女性・女性社会の中で頑張る男性をお招きし、パネルディスカッションを行う。

3 おとう飯について

- (1) 概要（資料2）
令和4年度おとう飯はじめようイベントの概要を説明

- (2) 開催時期・内容について

- ・今年は一般公募を行なってはどうか？
- ・親子（父親と子供）での参加を募ってはどうか？
- ・へきなんの特産物であるへきなん美人を使った料理はどうか？
- ・へきなん美人の旬であり、また冬休みのため子供も参加しやすい12月の後半がいいのでは？

→今年は、父と子の親子での参加を公募する。（男性のみの参加も可）
開催時期は12月後半とし、へきなん美人を使った料理を作る。
場所は文化会館

4 その他

次回の会議は、6月16日（木）の午後7時～